

畑で育つのは、作物だけじゃない。



発足から4年目を迎えた畑楽会。活動を続ける中で育まれてきたのは、作物の収穫だけではなく、世代を超えた信頼関係と地域の絆でした。

子どもたちの笑顔を見守りながら、自らも元気をもらおう皆さん。そして、その姿を当たり前のように受け入れ、親しみを持って接する子どもたち。そこには、これからの地域づくりに必要なヒントが詰まっています。

秋には、みんなで植えたサツマイモの収穫が待っています。収穫したサツマイ

未来へ残したい取組

また、この活動は子どもたちを地域全体で見守る環境づくりにもつながっています。顔見知りの大人が増えることで、地域への親しみや安心感が生まれ、子どもたちにとっても「自分たちを気にかけてくれる人がいる」という心強さになります。



モを囲みながら交わされる「おいしいね」の一言もまた、地域のつながりを深める大切な時間になることでしょう。

畑楽会の取り組みは、地域の未来を育てる活動として、これからも大堀地区に温かな実りをもたらしていきます。

代表の 奥山征一郎さん



に聞きました

「おいしいね」と食べる日を楽しみに

どこの集落でも子どもが少なくなっています。でも、だからこそこうした活動は必要だと思っています。

高齢になると家にいる時間も増えますが、子どもたちとコミュニケーションを取ることによって元気をもらえるんです。今日はサツマイモを植えました。秋に収穫して子どもたちと「おいしいね」と言いながら食べるのが今から楽しみです。

畑を楽しみ、人をつなぐ。



「大堀小学校畑楽会」 畑で育つ、地域のつながり

畑を楽しむ会、それが「畑楽会」。大堀地区の有志が集まり子どもたちと一緒に畑づくりを楽しみながら地域を盛り上げています。

畑から始まる交流の種

6月4日、大堀小学校でサツマイモの苗植えが行われました。子どもたちに植え方を教えていたのは、大堀地区で活動する「大堀小学校畑楽会（略称：畑楽会）」の皆さんです。

畑楽会は「畑を楽しむ会」を意味します。大堀小学校学校運営協議会が学校へのサポートを呼びかけたことをきっかけに、大堀地区の有志が集まり発足しました。子どもたちと一緒に畑づくりを楽しみながら、地域を盛り上げる活動を続けています。

活動は畑だけにとどまりません。小学校での授業支援をはじめ、清水町老人クラブと協力して、学童保育や大堀保育所にも足を運び、子どもたちとの交流を大切にしています。地域の子どもたちを見守りながら、顔の見える関係づくりをつづけています。

緊張なんていらぬ関係

この日の苗植えでも、子どもたちは緊張した様子を見せることなく、地域のおじいちゃん、おばあちゃんや自然に会話を交わしていました。

「ここに植えるんだよ」、「こうやって土をかけるんだよ」そんなやり取りがあちこちで見られ、学校の授業でありながら、どこか家庭的で温かな雰囲気にも包まれていました。苗の植え方を教わりながら一緒に作業する姿からは、日頃から築かれている信頼関係が感じられました。

地域の未来を育てる活動

畑楽会が育てているのは、サツマイモだけではありません。畑での活動を通じて育まれているのは、地域の人と人とのつながりです。苗を植える時も、水やりをする時も、収穫を楽しむに待つ時も、そこには子どもたちと地域の大人たちとの会話が溢れます。「学校ではどうだ?」、「大きくなつたね」、「上手に植えられたね」そんな何気ない言葉のやり取りが、子どもたちにとっては地域に見守られている安心感につながり、高齢者の方々にとっては社会とのつながりや生きがいにつながっています。

近年は人口減少や少子高齢化の影響により、地域の中で世代を超えて交流する機会が少なくなってきました。子どもたちが地域の大人と接する機会も、高齢者が子どもたちの成長を間近で感じる機会も、以前に比べると決して多いとは言えません。だからこそ、畑楽会の活動には大きな意味が

